



特集:21世紀へ

Part1:



僕らのビートルズ

●鷹野十五

もうすぐ21世紀。最近の社会を見渡せば不透明感や不安の影が根強く残る。しかし高度経済成長期を迎える前の60年代のように、これは新時代への助走ではなかろうか。1960年、その時ザ・ビートルズが登場した。

Part2:



ビートルズの社会学・革新は辺境から生まれる

●嶋根克己(専修大学文学部助教授)

ビートルズの出現とその社会現象は、新しい文化を創造するためには、異なるものを融合させる文化的雑種が必要なのだと示唆している。ビートルズを生み出した背景について、社会的な視点を織り込みながら考えてみる。

Part3:



専修大学21世紀ビジョン

●山下徳夫(専修大学理事長)

「ハード」「ソフト」両面で独自の改革を進めよう



●出牛正芳(専修大学長)

「情報の時代」に向け新学部構想を



●小沼堅司(専修大学法学部長)

21世紀の社会を支える法学教育



●柴田弘捷(専修大学文学部長)

文学部新時代に向けた教育改革



歴史に学ぶ・いま、建学の精神に還れ —専修学校を創立した四人の若者たち—

●栗原夏紀

幕末から明治維新にかけ、先の見えない不安感と未知なる世界への希望とがカオスとなって渦巻く時代に、新しい学校の創設を夢見て実現した4人の若者たち。

専修大学グラフィティ

2000年度校友会定時総会あ・ら・か・る・と

支部だより

めんそーれ沖縄へ ●沖縄県支部 福永 正

話題の本

ライフスタイル革命 ●松田麻美子

定時総会報告

トピックス



「アドニス」は年会費を納入して頂いている校友の方を対象に、送付させて頂いております。